

はまさに手探り状態です。私はプロジェクトリーダー、彼女は副リーダーとして携わっていましたが、社会にでたことがない学生が「いい商品を作りたい」となった時に、何が必要かわからない。何が他のフェアトレード商品と違うのか。フェアとは何かというところから考え始めると、疑問が多すぎて。期限があったので、そこに間に合うようになんとか販売までは漕ぎつけたけれど、当初目標としていた支援内容にはまだ中身が伴っていないので、課題が山積みです。「フェア」な考え方と商品を広めることでこれが当たり前になる足がかりを作りたいですね。

5

TOP

プロジェクトについて

ブログ

神保町発、明治大学SDGsコーヒー

コーヒーと神保町のおすすめ本

神保町のカフェ

神保町コーヒーMAP

お問い合わせ

信し、古書店街だけでなくコーヒーというブランドでも人を集めたいという想いで、去年始動しました。学生には途上国の問題に取り組むのと同時に、大学の目の前にある街のまちづくりに取り組んでもらいたいと思っています。今はコロナで思うように活動できていないですが、徐々にしていければと思います。神保町は本の街ですが、電子書籍の需要が高まり、紙の本が売れにくくなっています。私も実家が書店・出版社をしていたのでよくわかります。実はかつて神保町にもお店がありました。課題を抱えているのは海外も国内も同じです。



#### ◇まちづくりにおける学生の役割とは？

**島田先生**：今は新しく神保町に来て街のことをあまり知らない人たちと、元からいてすごく愛着のある人たちが街中に共存しています。これからビルの老朽化や高齢化に伴って、外から来た人がどんどん増えていくと考えられます。それでこの街に愛着を持っている人が減ってしまったら、神保町の本屋街は変わってしまうですね。学生たちはそのどちらでもないのでも、両者を引き合わせるマグネットのような存在になるのではないかと考えています。

**中山さん**：これからはコーヒーを作るだけでなく、神保町のまちづくりにリアルに関わりたいですね。コーヒーと繋がり深い喫茶店の取材にも力を入れたいです。

## 個性を活かして人気ゼミへ

### ◇ゼミの活動で苦労したことはありますか？

**中山さん**：ずっと試行錯誤の連続だったなと。特に、島田ゼミにはもって国際系のことをやりたいって人や、まちづくりに力を入れたいという人など、いろいろな視点を持った人がいます。なので、先生が一年間でコーヒーを商品化するプロジェクトどう？と持って来てくださった時に、アプローチの仕方が違うから全員が全員やりたいとはならなかったのですね。そういういろんな視点を一つに集約していくことは苦労したかもしれません。あとは、前期はオンラインだったこともあり、一人一人の個性を掘むのが大変でした。一人一人が主役になれるように、各々の得意なことを生かしながら商品につなげていくというのが、リーダーとしては難しかったですね。例えばデザインがうまい人、文章を作るのがうまい人などです。

**島田先生**：最終的には個性が活きましたね。オンラインになって、最初はみんな手探りでした。その中で途中からこの二人が全体の要になって進めてくれました。

**中山さん**：そうですね。うちの学年、女が強いって言われていて(笑)

**田口さん**：でも、ゼミ生が十五人いて良かったなと思います。もし私一人のプロジェクトだったら、こんないろんな人の声に寄り添える商品を作ることができなかったと思います。

**島田先生**：去年のゼミ生は二十二人でしたが今年は三十五人になります。だから今年もオンラインになってしまうと、意思疎通がより難しくなりそうですね。

**中山さん**：ただ、新規生は初めて島田ゼミに入ったからこそ出てくる疑問を持ってるんですね。既に学んできたからこそ私たちが盲目になっていることに、なんでそうなるの？と疑問をもつ。多分それが一般の方の声なのですね。だから、この疑問の答えを出せれば一般の方にも買っていただける商品になる。これがいいよって言える根拠になる。それを強みとして感じています。

6

島田先生:みんな多士済々というか、動画作成がすごいまい学生がいて。

田口さん:島田ゼミのPR動画とかも作ってくれて、その影響もあって今年二十人も増えるという結果に繋がったのかも。

島田先生:うちのゼミの人気が出たのは、僕じゃなくて動画のおかげです(笑)

中山さん:SNS関連を動かしてくれる人もいます。色々助かります。



ゼミを支える  
多士済々な  
メンバー

◇繋いでいく、これからの島田ゼミ

中山さん:私たちはすごく小さな力かもしれないけど、活動の基盤を作れたことは良かったです。四年間ではできないことも多い中で、島田先生が長期的に神保町に携わってくださることで、次の次のつてやっていけるので、今後に期待していますか?(笑)

島田先生:そうね(笑)コーヒーを作るというのも、実は四年前からあったアイデアなんです。それから二年近く経って、やっと去年商品化したんです。プロジェクトはそうやって時間をかけてつくっていくものですね。

田口さん:確かに、続いていくっていいですね。二年前の想いが私たちの代で形になって。で、私たちが今思っていることが二年後には形になっているかもしれないと思うと、面白いなと思いますね。

◇お二人の卒業後は?

中山さん:デジタルマーケティングの会社に就職します。人に伝えることは、自分が発信できる場がないとできないと痛感したので。あとはコロナもあって、デジタルの強みや影響力の大きさ、可能性を感じました。

田口さん:私は、主に介護業界の課題解決をしている会社に就職します。経営が困難な会社を引き上げるようなことをやっていて、今後は介護以外の業界にも関わっていく会社です。

中山さん:当初は、国際支援に携わることを目標にしていたんですが、社会問題への関わり方が変わったただだと思います。

田口さん:そうですね。社会課題への問題意識があるので、それが国外だろうと国内だろうと本質は変わらないかなと。将来は日本で介護の仕組みを作って海外に発信とかしたいなって今は思っています。世界は繋がっていて、切っても切れない関係だなと。

島田先生:ゼミって学生のためだけのものではなくて、卒業してからみんなで作っていくものです。帰ってくるのはウェルカムですからね。OBとして、ぜひ参加してください。



島田ゼミのみんな~  
これからも応援してるピヨ~

神保町コーヒー・プロジェクト  
については、こちらから!





記事を掲載いただきました。「グローバル化、デジタル化する世界と神保町コーヒー」



明治大学のYoutubeで英語のアニメが公開になりました



「コーヒーカップの向こう側：フェアな経済とは何か？」が掲載されました



明治大学広報2021年2月1日号で紹介されました



国際開発ジャーナル2021年2月号で紹介されました

## このプロジェクトについて

神保町コーヒープロジェクトは神保町発でさまざまなコーヒーの情報発信をしていくものです。コーヒーを軸に「神保町の街づくり」と「SDGs」（持続可能な開発目標、Sustainable Development Goals）に取り組めればと思っています。

## twitter

@JimbochoCさんのツイート

神保町コーヒープロジェクトさんがリツ

## facebook

神保町コーヒープロジ...  
このページに「いいね！」 25 件の

